

サマ — キ ャ ン プ

主催 小中高校生の吃音のつどい NPO 全国言友会連絡協議会

今年のサマーキャンプは、埼玉県秩父市にある浦山山荘で開催します。吃音としっかり向き合うためのいろんなワークショップを準備しています。「もっと話したい相談したいのに、時間がない…」なんてことはありません。ぜひ今年の夏休みのご予定にお入れください！！ 好評のからだの揺らし今年も行います。

◆日時◆

8月17日(土)～8月18日(日)

◆会場◆

浦山山荘 <住所>埼玉県秩父市荒川上田野565 (駐車場有り)

◆内容◆

- ・吃音(ことばがどもること)についての年齢別の話し合い・勉強会
- ・ご両親への吃音相談会
- ・楽しいレクリエーション(花火など)



◆対象◆

小学生～高校生の吃音児とご家族(兄弟姉妹も可)
ことばの教室の先生、ST、吃音問題に関心をお持ちの方

◆費用◆

12000円程度(交通費別、保険料込。正確な金額は後日お知らせします)

申し込み先・お問い合わせ

※参加申込締切：8月10日(土)

かわぐち りょうた

・川口 亮太(つどいスタッフ)

TEL : 080-1168-4779

MAIL : ryohta.kawaguchi@hotmail.co.jp

・三鷹市立南浦小学校きこえとことばの教室

MAIL : omata-mikako@m-schoolnet.jp (7月24日まで受信可)

※お申し込みの際、氏名(漢字、ふりがな)、学年、電話番号、

メールアドレス、当日相談したい内容について記載願います。

・Google フォーム (<https://forms.gle/WGtYqTVXpXY5pRHp6>) からの申し込みも可能です。

(右のバーコードからアクセス可)

持ち物、交通手段等明記した詳細案内は後日別途送ります。

9時30分西武池袋線池袋駅集合予定。 <https://kitsuon-tsukiau.org/>

注意事項

・8月10日以降にキャンセルする場合はキャンセル料が発生することがあります。

(※要相談、当日100%)

・8月10日以降申込みの場合は「キャンセル待ち」になる可能性があります。なるべくお早めに申し込みお願いします。



◆ 1 日目 ◆

開会式

サマーキャンプが始まるよ。これから過ごす、お友達の顔を覚えよう！

エンカウンターゲーム

楽しいレクリエーションを通して、友達やスタッフとの交流を深め合おう！

からだのゆらし

竹内レッスンでおなじみ！普段固まってしまった体をゆるめていこう！

話し合い・相談会①

話し合い開始！いつもは、話しにくい吃音の話がたくさんしよう！

作文教室

吃音について、感じる事、考える事を自由に表現してみよう！

勉強会

自分の吃音の様々な場면을皆で作って、向き合う・考える時間です。

マンツーマン

参加者とスタッフが1対1で話す、とても貴重な時間だよ！
年齢別の話し合いでは正直話せなかった人も、気軽に話してみよう！

花火

1日目のフィナーレ！思う存分、みんなで一緒に楽しもう！

お風呂

1日目の疲れを十分にとって、明日の2日目に備えよう！

◆ 2 日目 ◆

早朝散歩（自由参加）

さわやかな山の朝の空気を吸って 伸び伸び 深呼吸しつつ…

朝食

朝食は1日の源。しっかり食べて次の話合いに備えよう！

話し合い・相談会②

昨日の話合いでは話し足りない事をこの時間思い切って話してみよう！

閉会式

2日間で得られたこと、感じたことを みんなで共有しよう！

<http://tsudoi.tsukiau.org>

高校2年生男子「本気に向かい合って」

「吃音」に対して、本気に向かい合ったのは高1の夏のことでした。バレーボールの練習中に声が出ないことが辛くて、部活を辞めようと思った時のことです。顧問に相談しても理解されず、結局辞めることになりました。当時は本当に辛くて、今となっては考えられないことだけれど、人と話す時に緊張して顔がこわばったり、顔が下がり気味だったり、わざと小さい声で話したりしていました。発表も、スピーチも、人と話すことさえ嫌いになってしまった自分を変えてくれたのが、この「吃音のつどい」でした。「つどい」では自分と同じ吃音の方々が出て、様々な話をしてくれました。その方々と話すにつれて、自分が今、何をすべきなのか、どういった人生を送ればいいのかははっきりしてきました。

「吃音の人は障害者で、俺は絶対にそんなのではない」俺が中学の頃、ずっと思っていたことです。自分が吃音であるという現実を受け入れたくないがゆえに、それを隠そう、隠そうとしていたのです。発表もスピーチも自己紹介まで、本当の自分を偽って逃げ続けていました。そんな中、「つどい」でたくさんの方々に出会ってからは、次のように考えるようになりました。「吃音でない自分を演じ、偽り続ける人生なんて楽しいのだろうか。吃音である自分を受け入れて、真面目に正直に生きる方が、よっぽど楽しいだろうし、かっこいい」と。

俺は人生において、山を一つ越えたのだと思います。今はプレゼンテーションやスピーチに積極的に参加し、人に話しかけられるようになりました。また、これまでのことで分かったことは、吃音に限らず何事にも本気に向き合って考えれば、必ず何か分かることがあり、自分にとってマイナスになることはないということです。ある意味、自分を成長させてくれたつどいには感謝しています。

小学4年生 男子

初めてサマーキャンプに参加した。サマーキャンプの集合場所に行くと、みんな楽しそうだった。ぼくは一人だったけど、佐藤さんが声をかけてくれたから、みんなも声をかけてくれると思った。小学生が一杯で、中高生や大学生は少ししかないと思っていたから、こんなにどる人がたくさんいておどろいた。

キャンプに着くと、ぼくといっしょの部屋で寝る人が声をかけてくれた。ぼくはその人と一杯しゃべって、一杯遊んだ。(はるはるさん) 小学生の友だちもたくさんできた。夜には、シャワー戦争や花火もやって、その後こっそり夜ふかしをした。次の日には小学生グループでげきをやり、きんちょうしたけどすごくおもしろかった。

最後に一人ずつ感想を話す時に、「げきが楽しかった」と話した。他にも、一日目の夜にことばの話をして、『どもりさんにメイワクをかけたこと』で、「どることはダサイと思っていた」と書き、佐藤さんに「よく書いたね」と言ってもらった。こんなに楽しいことが1泊2日で終わってしまうなんて、、、!!! 今度、つどいやサマーキャンプに行くときは、またみんなと話をしてみたいと思う。

小学4年生女子のお母さん

娘があんなにはしゃいでいたのを、初めて見ました。その後も気持ちが前より開放的になっているようで、帰省して従兄弟と過ごすことをとても楽しんでいました。我が子が自然にどる姿も分かりました。これを基準にしながら、これから娘の様子を見守っていきたいと思います。また気持ちの通い合うお友達が学校以外の所で出来た事は、娘にとって心のよりどころになっていきそうです。娘の支えがまた1つ増えたこと、とても嬉

しく思っております。

キャンプリーダーからあいさつ

しんかわ たくみ

新川 拓実

つどいのイベントの中でも1番大きいと言えるのがサマーキャンプです！いつものつどいではもっとこの仲間と一緒にいたい、もっと語り合いたい。時間が足りないと思うかもしれません。実際僕がそうです。つどいが終わって明日から普段の生活に戻ると思うと寂しくなります。でもサマーキャンプでは2日間仲間達と一緒にいることが出来ます！朝起きたらすぐそこには仲間がいます！考えただけでも凄いですよね！色々な予定のある夏休みだと思いますが少しだけ僕達と一緒に時間を下さい！**どもだち**のみんなに会えることを楽しみにしています！



ちゅうぐん ゆうき

中軍 友希

サマーキャンプは1年に1回のビッグイベントです。まじめに話すこともあれば、花火やレクリエーションなどで遊ぶこともあります。いくつかの学年でグループに分かれて話し合いをするので、年齢が近い友達ができます。年上のお兄さん、お姉さんも来るので普段話せないことも話せてお悩み相談ができるかもしれません。

学びあり、遊びありの2日間となっておりますので、キャンプが終わる頃にはあつという間の2日間だったと思っていただけるはず。普段から参加されている方も、まだ参加されていない方もみんなが楽しめる内容となります。皆様のご参加お待ちしております！



えんどう ゆう

遠藤 優

サマーキャンプでは、自然豊かな場所に赴き、同じ吃音のある仲間と濃密な時間を過ごすことができます。サマーキャンプでは、時間がたっぷりあるので、年4回のつどいの中で最も吃音について深く話すことができるつどいであり、最も参加者同士あるいは参加者・スタッフ間での親睦を深めることのできるつどいです。普段は吃音を隠しているという方もいると思います。つどいの場ではみんな吃音に理解がある方なので、どもりながら話しても大丈夫です。サマーキャンプで2日間吃音のある仲間同士でどもりながら話すことはとてもよい経験になると思います。ぜひご参加ください。If you stutter, you are not alone!



かわぐち りょうた

川口 亮太

僕は参加者の時、サマキャンに参加することをかなり渋っていましたが。誰が来るかも分からない場所で一泊二日をすごすことが怖かったからです。でも、吃音の仲間と一番仲良くなることができたのはサマキャンでした。吃音の仲間は、いま僕が前を向いて生きる上で大きな力になってくれています。みなさんと当日に会えること楽しみにしています。



イラスト提供：石橋 優樹